

伊勢湾の蜃気楼を知る。

蜃気楼（しんきろう）をみたことがありますか？

伊勢湾の海には、美しい幻影、蜃気楼が浮かび上がることが知られています。

みえるであろう風景が、伸びていたり、ゆがんでいたり、浮いていたり。なぜそのようにみえるのでしょうか。

今回の講演会では、蜃気楼に魅了された研究者たちが、それぞれの視点で、蜃気楼のサイエンスに迫ります。

蜃気楼は、サイエンスとしてメカニズムが説明できるようになった今も昔も、伊勢湾を眺める人々の目で観測されてきた現象です。

みなさんのサイエンスの“目”をお待ちしています！

講演会（14:00-17:00）

司会：多森 成子（気象キャスター）

堀越 光信（元四日市市立博物館）

「伊勢湾蜃気楼の歴史・地元研究者の観測」

大鐘 卓哉（小樽市総合博物館）

「伊勢湾の蜃気楼観測、工芸品からみる蜃気楼の文化」

立花 義裕（三重大学生物資源学研究所）

「北勢地域の気象・気候—蜃気楼の発生条件を考える」

荒木 健太郎（気象庁気象研究所）

「しんきろう観測のシチズンサイエンスの可能性」

質疑応答&座談会

「伊勢湾のしんきろう」

伊勢湾の蜃気楼を見る。

蜃気楼の浮世絵、工芸品、写真の展示もあります。

ゆらゆらときまぐれ。これは幻想？

いつでもどこでも見られるわけではない蜃気楼の不思議さは、サイエンスよりも早く、アートとして“観測”されてきました。

江戸の昔から伊勢湾の風景として親しまれてきた蜃気楼が、浮世絵や工芸品のなかのモチーフとして、会場に登場します！

伊勢湾を眺める人々の心をとりにしてきた蜃気楼の文化をいっしょにのぞいてみませんか。

伊勢湾で観測された蜃気楼の写真も会場でご覧になれます。



『春季蜃気楼』



『色絵蜃気楼図皿』



『東海道五十三対・四日市』

「見よう！知ろう！伊勢湾の蜃気楼」

開催概要

2022年3月27日（日） 開場 13:00 ～ 講演会&座談会 14:00 ～ 17:00

場所：三重県四日市市陶栄町4-8 ばんこの里会館3階 多目的ホール

<http://bankonosato.jp/wp/access/>

駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

事前登録はコチラから→

お申し込みフォームはこちらのHPにアクセス（3月20日まで）

『見よう！知ろう！伊勢湾蜃気楼』開催事務局：
三重大学生物資源学研究所 059-231-9354 担当：飯島

